

お釈迦さまの生涯とその後の仏教

1. お釈迦さまの生涯

- 2600 年前、北インドの釈迦族の王子として誕生 降誕会 4/8
ガウタマ・シッダールタ（瞿曇悉達多、最上の雄牛、目的を達成した者）
父：シュッドーダナ（浄飯）王、母：マーヤー（摩耶、幻）
養母：マハープラジャーパティ（摩訶波闍波提、偉大なる子どもの守護者）
- 幼少時代…思索にふけることが多かった。最初の瞑想→農耕祭
- 青年時代…結婚と子ども
ヤショーダラー（耶輸陀羅、美しさ誉れを保持する者）姫と結婚
息子のラーフラ（羅睺羅、障碍）誕生
- 29 歳で出家・修行
四門出遊（東南西北＝老人、病人、死人、聖者と出会い、出家を決意）
その後、瞑想行と苦行を行う
- 35 歳で成道、梵天勸請、初転法輪
成道…菩提樹下で瞑想し、涅槃の境地に至る ※華嚴経 成道会 12/8
梵天勸請…梵天に勧められて他の人々への布教を決意
初転法輪…5 人のかつての苦行仲間に説法 三宝（仏・法・僧団）が成立 ※阿含経
- 以後 45 年間、各地を遍歴し、布教を続ける ※阿含経、方等経、般若経、法華経
- 80 歳で入滅
沙羅双樹下で弟子たちに囲まれて般涅槃 ※涅槃経 涅槃会 2/15
荼毘と仏塔建立

◆.....◆
吹田隆道『ブツダとは誰か』（春秋社）2013

中村元編著『仏教語源散策』（東京書籍）1998

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1972

その後の仏教

- 入滅直後 **第一結集**…経蔵と律蔵（二蔵）成立
ラージャグリハにてマハーカーシャパを中心に 500 人の阿羅漢（聖者）比丘が集合。
釈尊の教え（経蔵）と教団規則（律蔵）の確認を行う。
- 仏滅 100 年後 **第二結集**…根本分裂、部派仏教の誕生、三蔵の成立
根本分裂…出家者の金品受持などの「十事」や阿羅漢に関する「五事」の是非をめぐり
上座部と大衆部に分裂
部派仏教…上座部と大衆部からさらに分裂が進み、約 20 の部派が生まれ
三蔵の成立…各部派が教義を解釈するようになり、論蔵（アビダルマ）が成立
- 仏滅 200 年後（BC.3 世紀）
アショーカ王による仏教保護，各地に仏塔建立 →仏教が全インドに広まる
西インドからスリランカへ伝播《上座部》 ※パーリ語聖典成立
中インドからガンダーラ，カシュミールへ伝播《説一切有部》※サンスクリット聖典成立
- 仏滅 400～500 年後（BC.1 世紀～AD.1 世紀） **大乘仏教の登場**
→ AD.2c 中国 → AD.6c 日本へ伝播
大乘仏教…自らを菩薩と称し、ブツダと同じさとりを目指す
初期仏教…出家者は阿羅漢を目指し、在家者はよりよい来世を目指す
◎阿弥陀仏、阿闍仏、薬師仏などに関する浄土系経典（『無量寿経』など）の成立
◎般若波羅蜜を重視する『般若経』の成立
◎『華嚴経』『法華経』『涅槃経』なども成立
- 仏滅 1000～1100 年後（AD.5 世紀～AD.6 世紀） **密教の登場**
→ AD.8c 日本，チベットへ伝播
密教…ブツダとの入我我入によるさとりを目指す
- 仏滅 1700 年後（AD.13 世紀） インドで仏教教団滅亡

◆……………◆
佐々木閑『般若心経（100 分 de 名著テキスト）』（NHK 出版）2013

『シリーズ大乘仏教』全 10 巻（春秋社）2011～2014

『大乘仏典』シリーズ（中公文庫）2001～（世界の名著シリーズの文庫本化）